

令和3年度 博士課程授業科目レポート課題

2022/1/24現在

主担当教員	留学生用 科目No.	科目	課題
石原 俊治	D11	器官系の病態構造 I	炎症性腸疾患について述べよ
	D28	臨床腫瘍学 I	炎症性発癌について述べよ
磯部 威	D2	臨床腫瘍学総論	以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ①がんの疫学 ②分子標的治療薬または、がんの免疫療法について ③がんの副作用対策
	D37-1	地域がん治療学	以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ①がん検診 ②がん医療の病診連携 ③地域がん診療病院の果たす役割について
			Choose one among three following themes, and please describe about recent topics. 1. Cancer screening 2. Multidisciplinary cancer medicine and network 3. The role of local hospital in cancer treatment
	D37-3	がん医療社会学	以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ①高齢者がん医療 がん化学療法、外科療法の適応など ②アドバンス ケア プランニングについて ③がん医療と医療経済
D65	臓器病態学Ⅲ	以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ①COPDの併存症について ②肺炎球菌ワクチンについて ③気管支喘息の治療について	
稲垣 正俊	D5	臨床医科学	神経精神科学/臨床精神医学とは Neuropsychiatry and/or clinical psychiatry.
	D66	生体病態学 I	精神障害の病態について (全体でも特定の障害についてでもよい)
内尾 祐司	D8	組織・器官系の構造と機能 I	「組織・器官系の構造と機能 I」で学んだことについて
	D103	理工医学のための生物材料学	「理工医学のための生物材料学」で学んだことについて What I learned from this subject.
浦野 健	D6	細胞生物学 I	COVID-19 およびSARS-CoV-2 について、あなたが知る科学的な知見について記載ください。 Please report the scientific evidence you have learned about COVID-19 and SARS-CoV-2.
	D19	老化 I	「老化I」で学んだことについて Please report what you have learned in this subject.
織田 禎二	D63	臓器病態学 I	知っておくべきがん患者の循環器診療について述べよ
金崎 啓造	D52	内分泌・代謝学 I	以下の内、いずれか一つについて作成 1. 糖尿病腎症の病態進展機構について記せ Describe "The pathogenesis of Diabetic Nephropathy" 2. 糖尿病と癌について記せ Describe "The biology of Cancer in Diabetes Mellitus" 3. Catechol-o-methyltransferase不全が演じる病態的意義について記せ Describe "The pathogenic significance of Catechol-o-methyltransferase deficiency"

※課題はメールでお知らせします。届かない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※和題と英題を併記している場合、英題は留学生用のものです。

※レポートの提出締切は**2月9日(火)**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。

主担当教員	留学生用 科目No.	科目	課題
菅野 貴浩	D6	細胞生物学Ⅱ	骨再生医療における骨形成細胞の供給源と分化について詳述せよ。 Please review the resource and differentiation of osteoblastic cells for bone regenerative therapy.
	D37-2	口腔腫瘍学	口腔扁平上皮癌におけるエビデンスに基づく分子標的治療薬について詳述せよ。 Please review the evidence-based molecularly targeted drugs for the treatment of oral squamous cell carcinoma.
北垣 一	D58	生体機能測定学Ⅱ	生体機能測定学に関してあなたが学んだ最近の知見を文献を明記して記載しなさい。
京 哲	D31	臨床腫瘍学Ⅳ	「我が国のがんゲノム医療の現状と課題、及び将来展望について述べなさい」
齊藤 洋司	D37-4	緩和ケア学	研究課題における成果と今後の研究計画について The study results in this year and the future study plan
	D46	神経科学Ⅱ	研究課題における成果と今後の研究計画について
佐野 千明	D77	臨床免疫学Ⅰ	SARS-CoV-2に関連した細胞性免疫について（500～1000字）
	D107	総合診療・地域医療学	「総合診療・地域医療学」で学んだことについて

※課題はメールでお知らせします。届かない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※和題と英題を併記している場合、英題は留学生用のものです。

※レポートの提出締切は**2月9日（火）**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。

主担当教員	留学生用 科目No.	科目	課題
紫藤 治	D4	応用医科学	<p>Select one of three subjects listed below (A, B, C) and submit a report after reading one of two references. The content of the report may be a summary of research (reference) and/or impressions of the subject. The report can be replaced by a report of impressions for thesis presentation that you attended. As a substitution (D), you can submit a summary or impressions of a lecture of Dr. Miki, which has been provided by a mp4 file. Please be advised, however, that you cannot select the same subjects as you selected for another class. You cannot submit the same report as you submitted for another class either. ※回答は日本語でも英語でもよい</p> <p>A, Effects of theobromine intake on cognitive function in animals and humans 1.Sub-Chronic Consumption of Dark Chocolate Enhances Cognitive Function and Releases Nerve Growth Factors: A Parallel-Group Randomized Trial. Sumiyoshi E, Matsuzaki K, Sugimoto N, Tanabe Y, Hara T, Katakura M, Miyamoto M, Mishima S, Shido O. Nutrients. 2019 Nov 16;11(11):2800. doi: 10.3390/nu11112800. 2.Theobromine Improves Working Memory by Activating the CaMKII/CREB/BDNF Pathway in Rats. Islam R, Matsuzaki K, Sumiyoshi E, Hossain ME, Hashimoto M, Katakura M, Sugimoto N, Shido O. Nutrients. 2019 Apr 20;11(4):888. doi: 10.3390/nu11040888.</p> <p>B, Role of hypothalamic neurogenesis in heat acclimation 1.Proliferation of neuronal progenitor cells and neuronal differentiation in the hypothalamus are enhanced in heat-acclimated rats. Matsuzaki K, Katakura M, Hara T, Li G, Hashimoto M, Shido O. Pflugers Arch. 2009 Aug;458(4):661-73. doi: 10.1007/s00424-009-0654-2. Epub 2009 Feb 28. 2.Neurogenesis in the thermoregulatory system. Shido O, Matsuzaki K, Katakura M. Handb Clin Neurol. 2018;156:457-463. doi:10.1016/B978-0-444-63912-7.00028-X.</p> <p>C, Improvement of salivary function by moderate heat exposure 1.Upregulation of aquaporin expression in the salivary glands of heat-acclimated rats. Sugimoto N, Matsuzaki K, Ishibashi H, Tanaka M, Sawaki T, Fujita Y, Kawanami T, Masaki Y, Okazaki T, Sekine J, Koizumi S, Yachie A, Umehara H, Shido O. Sci Rep. 2013;3:1763. doi: 10.1038/srep01763. 2.Daily voluntary exercise enhances pilocarpine-induced saliva secretion and aquaporin 1 expression in rat submandibular glands. Matsuzaki K, Sugimoto N, Katakura M, Sumiyoshi E, Hara T, Hashimoto M, Shido O. FEBS Open Bio. 2017 Dec 7;8(1):85-93. doi: 10.1002/2211-5463.12353. eCollection 2018 Jan.</p> <p>D, a summary or impressions of a lecture of Dr. Miki</p>
	D53	内分泌・代謝学Ⅱ	
鈴木 律朗	D26	腫瘍生物学Ⅲ	<p>造血器腫瘍に対する分子標的療法 Molecular targeted therapy for hematopoietic tumors</p>

※課題はメールでお知らせします。届かない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※和題と英題を併記している場合、英題は留学生用のものです。

※レポートの提出締切は**2月9日(火)**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。

主担当教員	留学生用 科目No.	科目	課題
竹下 治男	D87	中毒学Ⅰ	中毒学で学んだこと
			What I learned in this subject
	D88	中毒学Ⅱ	中毒学で学んだこと
			What I learned in this subject
竹谷 健	D17	先天異常Ⅰ	「先天異常Ⅰ」で学んだことについて
			What I learned from this subject.
田島 義証	D24	腫瘍生物学Ⅰ	あなたが最も興味のある消化器がんに対する最近のがん薬物療法について記載してください ※様式指定あり
	D29	臨床腫瘍学Ⅱ	あなたが最も興味のある消化器がんに対する最近の診断と治療について記載してください ※様式指定あり
田邊 一明	D20	老化Ⅱ	「老化メカニズムの解明」と「健康長寿の実現と推進」の観点から、研究プロジェクトを描いてください。
田村 研治	D33	臨床腫瘍学Ⅵ	抗悪性腫瘍に対する分子標的薬剤について、その種類、効果、有害事象について
千貫 祐子	D78	臨床免疫学Ⅱ	食物アレルギーの検査法とその機序について説明してください。
津本 周作	D93	医学・医療情報学Ⅰ	※教員より通知済み
直良 浩司	D70	薬物動態学Ⅰ	薬物動態の個体間変動に関する論文を1つ取り上げ、その内容を批判的にまとめなさい (A4 1枚)。レポートはメール添付で提出し、論文のPDFを添付すること。
長井 篤	D41	細胞機能学Ⅰ	今年度受講した上記の医学部講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、細胞機能調節の分子メカニズムについて要約し、今後の研究の発展性や疾患の病態メカニズムとの関連性などについて、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載か分かるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
			Select one lecture you got interested in the lectures given in this course of Faculty of Medicine and summarize it with a title of lecture and its lecturer. Furthermore, describe the future development of the technology and the principle in this field from your viewpoint.
	D57	生体機能測定学Ⅰ	今年度受講した上記の医学部講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、高次機能評価法、睡眠覚醒障害の測定方法や評価法、磁気刺激法について要約し、今後の研究の発展性や疾患の病態メカニズムとの関連性などについて、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載か分かるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
	D99	医療のための光工学	今年度受講した上記の医学部講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、医療の中で光工学がどのように利用されているか、または利用するためにどのような工夫や研究がなされているかに力点をおいて説明し、今後の光工学の活用や発展性について、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載か分かるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
D102	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	今年度受講した上記講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、臨床・社会・環境医学の中で高度情報学がどのように利用されているかに力点をおいて説明し、講義により今後医学情報の活用に関する認識がどのように変わったか、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載か分かるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。	
		Select one lecture you got interested in the lectures given in this course of Faculty of Medicine and summarize it with a title of lecture and its lecturer. Furthermore, describe the future development of the advanced informatics in this field of clinical, social, and environmental medicine from your viewpoint.	
中村 守彦	D39	分子機能学Ⅰ	分子機能学Ⅰで学んだことについて
			What you learned in Molecular Physiology I
	D60	分子病態学Ⅰ	「分子病態学Ⅰ」で学んだことについて： 生化学セミナーで紹介された論文の中から興味を持ったテーマを選んで、学んだことを自由に記載してください。 例えば、中村はシラバスに沿って、タンパク質の翻訳後修飾に関する論文を紹介しました。
中山 健太郎	D22	発癌Ⅰ	発癌について学んだこと、考察したこと

※課題はメールでお知らせします。届かない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※和題と英題を併記している場合、英題は留学生用のものです。

※レポートの提出締切は**2月9日(火)**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。

主担当教員	留学生用 科目No.	科目	課題
並河 徹	D61	分子病態学Ⅱ	「分子病態学Ⅱ」について学んだこと
	D64	臓器病態学Ⅱ	「臓器病態学Ⅱ」について学んだこと What I learned in this subject
原田 守	D75	基礎免疫学Ⅰ	ワクチン後のT細胞の動きと抗体産生の全過程を説明せよ
	D79	腫瘍免疫学Ⅰ	がんに対する免疫療法について
	D81	移植免疫学Ⅰ	免疫寛容とその誘導法について
	D100	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	講義で印象に残った内容を2回分(A4 1枚程度で)、要約せよ。
藤谷 昌司	D3	基礎医科学	「基礎医科学」で学んだことについて
			What I learned from this subject.
	D15	発生生物学Ⅰ	「発生生物学Ⅰ」で学んだことについて
			What I learned from this subject.
D47	神経科学Ⅲ	「神経科学Ⅲ」で学んだことについて	
		What I learned from this subject.	
D49	細胞間情報伝達学Ⅰ	「細胞間情報伝達学Ⅰ」で学んだことについて	
		What I learned from this subject.	
矢野 彰三	D50	細胞間情報伝達学Ⅱ	「細胞間情報伝達学Ⅱ」で学んだことについて
吉山 裕規	D83	感染症学Ⅰ	新型コロナウイルスの感染防御法について(治療法は含まない) ※A4サイズ2ページまでにまとめる
和田 孝一郎	D67	生体病態学Ⅱ	「生体病態学Ⅱ」で学んだことについて

※課題はメールでお知らせします。届かない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。

※和題と英題を併記している場合、英題は留学生用のものです。

※レポートの提出締切は**2月9日(火)**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。